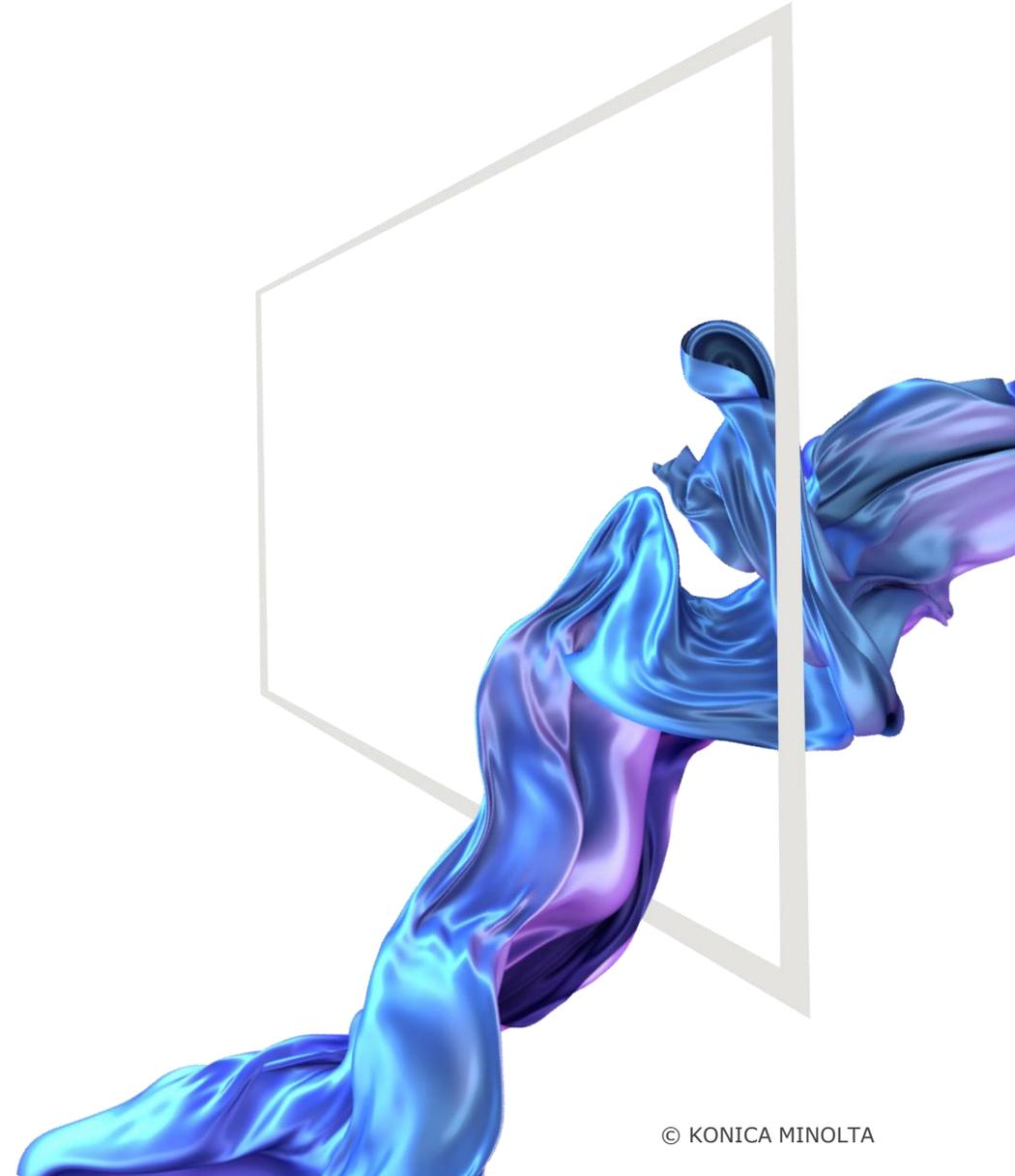


# コニカミノルタ株式会社 2025年3月期（2024年度） 第3四半期決算説明会

代表執行役社長 兼 CEO 大幸 利充

2025年2月6日



## 覚悟をもって2024年度に大きな経営改革を完遂する

- 過去から決別し、改革に向けて大きな一歩を踏み出し、成果が出つつある
- 強化事業の成長を追求するとともに、オフィス事業の収益力を強化する
- 生産性を向上させる構造改革をグローバルで実行し、事業の選択と集中を加速させる

FY22

FY23

FY24

FY25

FY26~

Phase1  
過去からの  
決別

Phase2  
事業の選択と集中

Phase3  
成長基盤の確立

持続的成長  
への再軌道

# 本日のポイント

## FY24 3Q累計実績

- 事業貢献利益は大幅増益  
オフィスの収益力安定化、プロダクションプリントの収益拡大
- センシング、光学コンポーネントの減損損失計上により、  
営業損失、当期損失
- 金融費用の高止まり、税金費用の悪化

## 中期経営計画 進捗

- **事業の選択と集中**：  
Ambry社の全株式譲渡契約を締結し、クロージング完了  
光学コンポーネントの中国生産子会社の持分譲渡変更契約を締結
- **グローバル構造改革**：計画より前倒しで進捗

## 中期経営計画 課題

- **事業収益力の強化**：センシング、機能材料、ヘルスケアで収益悪化  
産業印刷の4Qの黒字化目標に遅れ

## FY24 3Q累計実績

<b>事業貢献利益</b>	<b>事業貢献利益率</b>
全社	全社
<b>288</b> 億円	<b>3.5</b> %
(対前年 +107億円)	(対前年 +1.2pt)

オフィス	プロダクションプリント
<b>8.3</b> %	<b>9.7</b> %
(対前年 +1.8pt)	(対前年 +0.8pt)

<b>売上高</b>	親会社の所有者に帰属する <b>当期損失</b>
インダストリー	全社
<b>892</b> 億円	<b>△134</b> 億円
(対前年 △9億円)	(対前年 △93億円)

# 2024年度 3Q累計業績



# 2024年度 3Q累計業績 | 全社サマリー

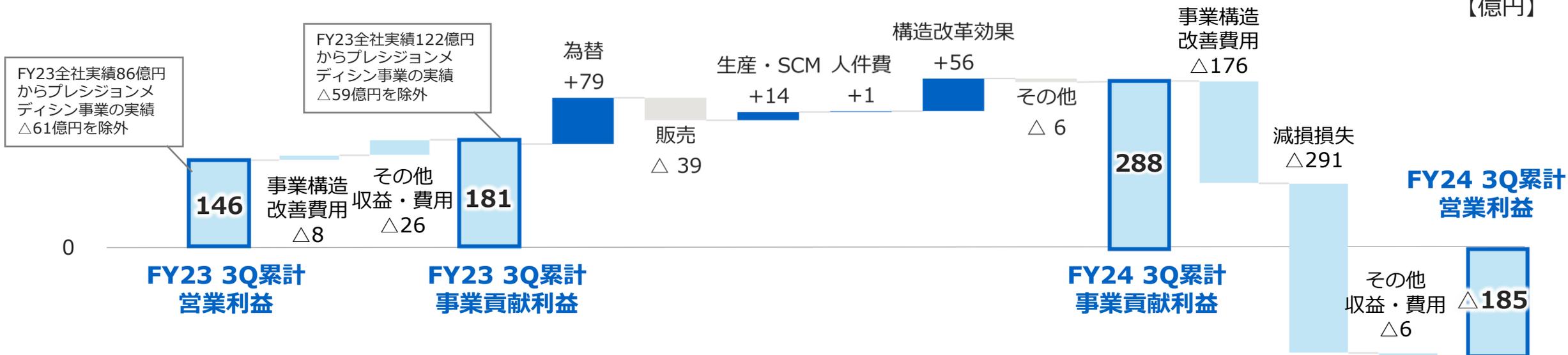
- 売上高 : 増収
- 売上総利益 : 情報機器事業の増収効果と生産含むコスト低減等により利益率の改善
- 事業貢献利益 : 販売管理費の抑制と方向転換事業の損失縮小
- 営業利益 : 事業構造改善費用176億円の計上  
 (グローバル構造改革 約130億円、無錫工場の生産終了やDW-DXの選択と集中、センシングの追加構造改革等)  
 減損損失291億円の計上 (うちセンシング、光学コンポーネント 282億円)
- 当期利益 : プレシジョンメディシン事業の譲渡益234億円の計上  
 金融費用の高止まり、税金費用の悪化により損失

	FY23				FY24			
	3Q累計	3Q累計	前期比	為替影響を除く 前期比	3Q	3Q	前期比	為替影響を除く 前期比
売上高	8,040	8,318	+3%	△ 1%	2,749	2,740	△ 0%	△ 2%
売上総利益	3,466	3,643	+5%	△ 1%	1,224	1,208	△ 1%	△ 4%
(売上総利益率)	43.1%	43.8%	+0.7pt		44.5%	44.1%	△ 0.4pt	
販売管理費	3,285	3,355	+2%	△ 2%	1,115	1,083	△ 3%	△ 5%
事業貢献利益	181	288	+59%	+15%	109	125	+14%	+7%
営業利益	146	△ 185	-	-	88	△ 174	-	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	△ 41	△ 134	-		3	△ 27	-	
FCF	133	67	△ 50%		39	△ 100	-	
為替レート (円)								
USドル	143.29	152.57	+9.28		147.89	152.44	+4.55	
ユーロ	155.29	164.83	+9.54		159.11	162.59	+3.48	

当第3四半期連結累計期間より、プレシジョンメディシン事業を非継続事業に分類しています。これにより売上高から税引前利益まではFY24期初に遡及して非継続事業を除いた金額です。親会社の所有者に帰属する当期利益は継続事業と非継続事業の合算です。なお、FY23も同様に組み替えて表示しています。FY23のプレシジョンメディシン事業の実績はP26をご参照ください。

# 2024年度 3Q累計業績 | 営業利益/事業貢献利益の増減要因

【億円】



← 実額 →      ← 増減額 →      ← 実額 →

	FY23 3Q累計 営業利益	事業構造改善費用	その他 収益・費用	FY23 3Q累計 事業貢献利益	為替	販売	生産・SCM	人件費	構造改革効果	その他	FY24 3Q累計 事業貢献利益	事業構造改善費用	減損損失	その他 収益・費用	FY24 3Q累計 営業利益
デジタルワーク プレイス事業	197	△6	△2	205	+42	△13	+18	+1	+38	+10	301	△137	-	△9	156
プロフェッショナル プリント事業	88	-	△0	88	+29	+26	△10	△4	+10	△32	107	△22	-	4	89
インダストリー事業	120	-	△5	125	+8	△40	+7	+1	+5	+3	107	△5	△282	2	△177
画像 ソリューション事業	△83	-	△19	△64	△0	△15	-	+2	+3	+3	△72	△5	-	2	△75
コーポレート他	△175	△2	△0	△173	+0	+4	-	+2	-	+10	△156	△7	△9	△5	△177
合計	146	△8	△26	181	+79	△39	+14	+1	+56	△6	288	△176	△291	△6	△185

# 2024年度 3Q累計業績 | 事業セグメント別売上高、事業貢献利益、営業利益

【億円】

売上高	FY23 3Q累計	FY24 3Q累計	前期比	前期比 (為替影響除く)	FY23 3Q	FY24 3Q	前期比	前期比 (為替影響除く)
デジタルワークプレイス事業	4,506	4,585	+ 2%	△ 3%	1,561	1,509	△ 3%	△ 5%
プロフェッショナルプリント事業	1,897	2,076	+ 9%	+ 4%	657	685	+ 4%	+ 2%
インダストリー事業	901	892	△ 1%	△ 4%	284	287	+ 1%	+ 0%
画像ソリューション事業	731	761	+ 4%	+ 1%	246	256	+ 4%	+ 3%
コーポレート他	5	5	+ 5%	+ 5%	2	2	△ 1%	△ 1%
全社合計	8,040	8,318	+ 3%	△ 1%	2,749	2,740	△ 0%	△ 2%

事業貢献利益	FY23 3Q累計	率	FY24 3Q累計	率	前期比	前期比 (為替影響除く)	FY23 3Q	率	FY24 3Q	率	前期比	前期比 (為替影響除く)
デジタルワークプレイス事業	205	5%	301	7%	+ 47%	+ 26%	97	6%	110	7%	+ 13%	+ 6%
プロフェッショナルプリント事業	88	5%	107	5%	+ 22%	△ 12%	52	8%	42	6%	△ 19%	△ 21%
インダストリー事業	125	14%	107	12%	△ 14%	△ 21%	44	15%	32	11%	△ 27%	△ 29%
画像ソリューション事業	△ 64	-	△ 72	-	-	-	△ 29	-	△ 22	-	-	-
コーポレート他	△ 173	-	△ 156	-	-	-	△ 55	-	△ 37	-	-	-
全社合計	181	2%	288	3%	+ 59%	+ 15%	109	4%	125	5%	+ 14%	+ 7%

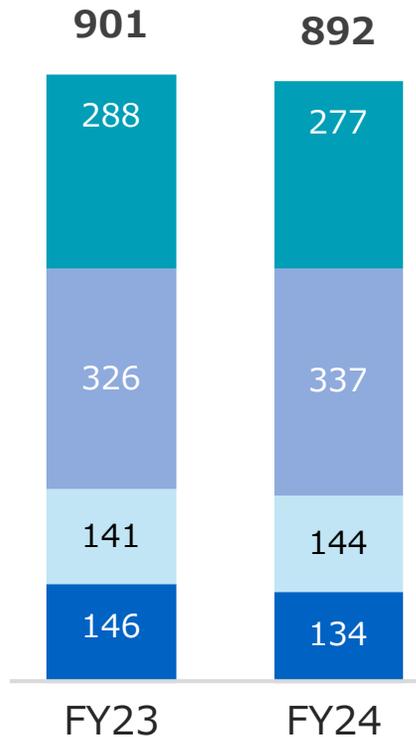
営業利益	FY23 3Q累計	率	FY24 3Q累計	率	前期比	前期比 (為替影響除く)	FY23 3Q	率	FY24 3Q	率	前期比	前期比 (為替影響除く)
デジタルワークプレイス事業	197	4%	156	3%	△ 21%	△ 39%	96	6%	90	6%	△ 7%	△ 13%
プロフェッショナルプリント事業	88	5%	89	4%	+ 1%	△ 31%	51	8%	39	6%	△ 23%	△ 25%
インダストリー事業	120	13%	△ 177	-	-	-	44	16%	△ 249	-	-	-
画像ソリューション事業	△ 83	-	△ 75	-	-	-	△ 47	-	△ 16	-	-	-
コーポレート他	△ 175	-	△ 177	-	-	-	△ 56	-	△ 39	-	-	-
全社合計	146	2%	△ 185	-	-	-	88	3%	△ 174	-	-	-

# 2024年度 3Q累計業績 | インダストリー

【億円】

## 売上高

## 事業貢献利益



- センシング
- 機能材料
- IJコンポーネント
- 光学コンポーネント



## 売上高

(対前年同期)

センシング △11	(-) 光源色：大手顧客の設備投資抑制、一部用途競争激化 (+) 物体色：欧米で減少も、アジア中心に堅調 (+) HSI：リサイクル用途を中心に好調 (+) 自動車外観：欧米中心に増収
機能材料 +10	(+) TV：TACフィルム需要減、大型TV向けSANUQI増 (+) スマホ：サプライチェーンの在庫調整から回復傾向 (-) IT：パネル市場停滞により減少
IJ コンポーネント +3	(+) 基盤：サイングラフィックスが欧米、印、韓で堅調 (+) 成長：長距離吐出ヘッドを上市し、段ボール印字用途向けを中心に採用が進捗
光学 コンポーネント △12	(-) 非産業：ピックアップレンズが需要減 (+) 産業上流：半導体製造装置向けが市場好調で伸長

## 事業貢献利益

インダストリー △18	(-) 機能材料：増産テストや新製品の開発テスト増による販売管理費の増加 (-) センシング：売上高減少による売上総利益の減少
----------------	--

# 強化事業（インダストリー）の成長回帰に向けて

## センシング

- ディスプレイ分野の大手顧客の大型設備投資抑制や一部用途の競争激化により、Radiant Vision Systems社とInstrument Systems社の営業損益が悪化し、減損の兆候が認められたため減損テストを実施した結果、回収可能価額が帳簿価額を下回ったため、のれん計236億円の減損損失を計上
- グローバル一体でのキーアカウントマネジメント強化による、競争力の向上と事業経営の効率化
- ディスプレイ分野の改善に加えて、自動車外観やHSI等を継続成長させ、強固な収益構造へ移行

## 光学コンポーネント

- ラックスビジョン社と協議の結果、コニカミノルタオプト（大連）を譲渡対象から除外（コニカミノルタオプティカルプロダクツ（上海）は持分80%を譲渡）
- 売却目的保有への分類を中止し、通常の資産及び負債に振り替える過程で、回収可能価額まで帳簿価額を減額した結果、有形固定資産等46億円の減損損失計上
- 光学コンポーネントとしては半導体製造装置向けを継続して強化
- 自社で販売を継続する非産業用レンズユニットは、生産効率の向上および構造改革の実行により収益力を回復

# 2024年度 3Q累計業績 | プロフェッショナルプリント



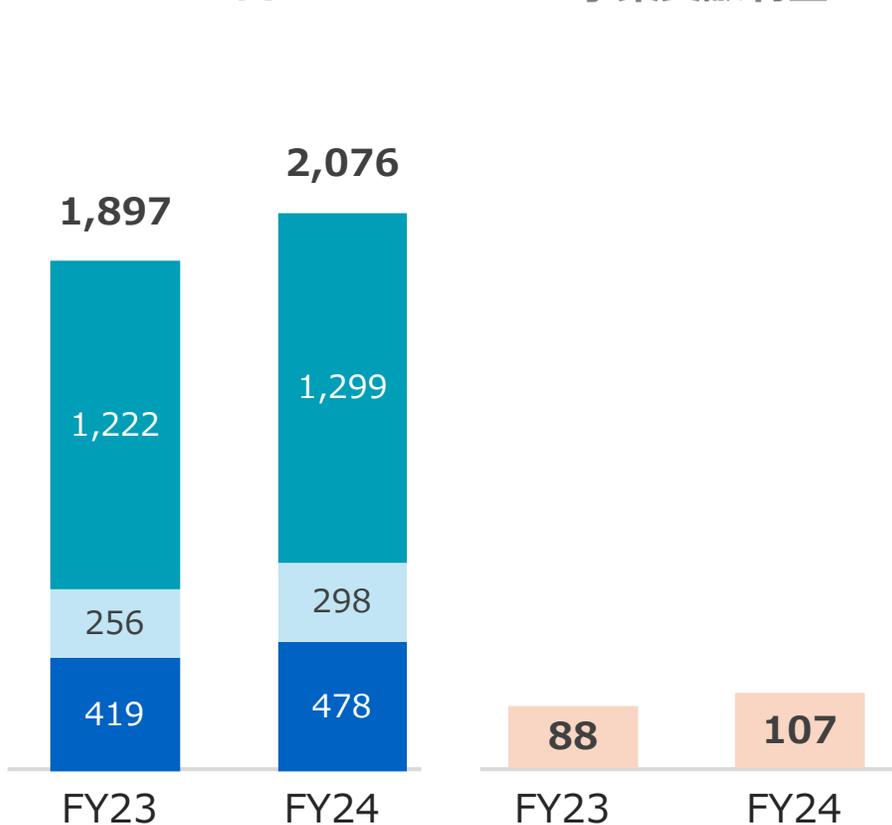
【億円】

## 売上高

(対前年同期)

### 売上高

### 事業貢献利益



- プロダクションプリント
- 産業印刷
- マーケティングサービス

## 売上高

【金額】	FY24 3Q累計	為替影響除く	FY24 3Q	為替影響除く
	ハード	+4%	△2%	△6%
ノンハード	+8%	+2%	+4%	+2%

【台数】	FY24 3Q累計	FY24 3Q
	カラー機	△1%(HPP+24%)
モノクロ機	△9%	△9%

プロダクションプリント +77

産業印刷 +42

(+) ハード：欧米で販売減、インドで好調  
3Q販売台数：MPP回復、HPP堅調

(+) ノンハード：米国、中国、インドで増加

(+) ハード：インクジェットの台数増、ラベル、加飾、テキスタイルは台数減

(+) ノンハード：印刷機稼働台数の累積により全ての領域で売上増

## 事業貢献利益

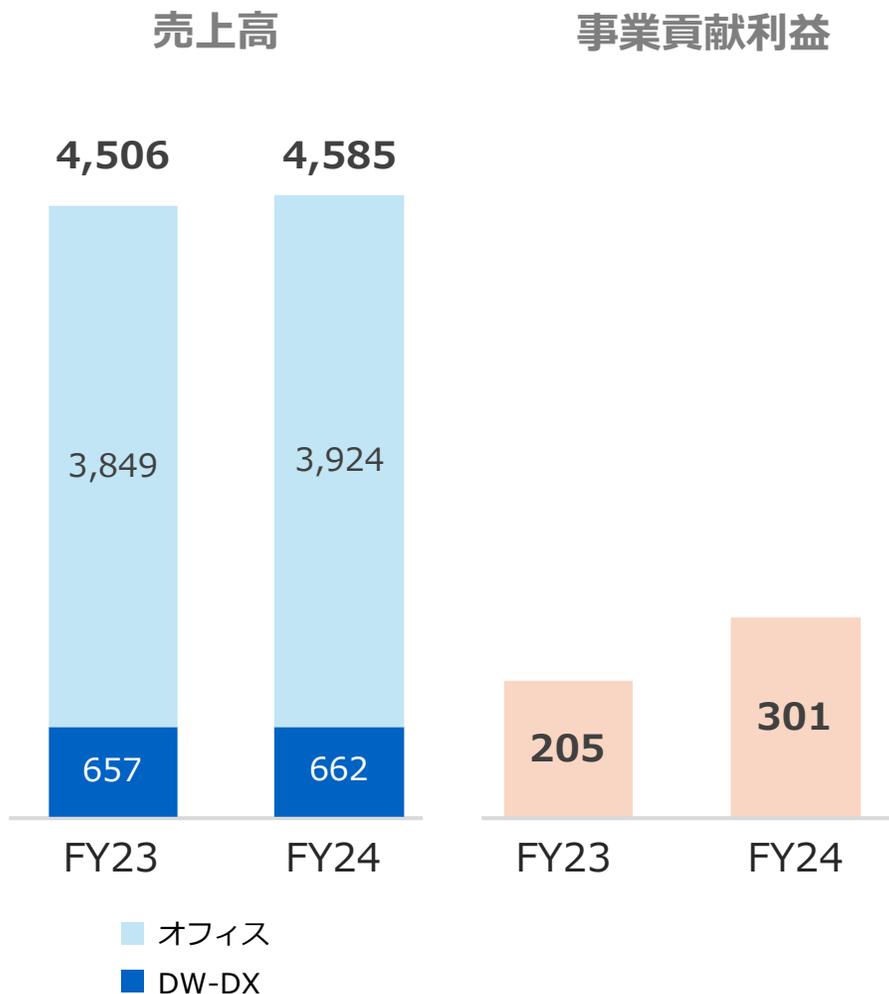
プロフェッショナルプリント +19	(+) プロダクションプリント：円安効果、売上増加による売上総利益増、構造改革効果
	(+) 産業印刷：物量増により損失縮小（4Q黒字化目標は遅れ）

# 2024年度 3Q累計業績 | デジタルワークプレイス

【億円】

## 売上高

(対前年同期)



	FY24 3Q累計		FY24 3Q	
	金額	為替影響除く	金額	為替影響除く
オフィス +74	ハード	△1%	△7%	△10%
	ノンハード	+5%	+2%	△0%
DW-DX +5	【台数】			
	A3カラー機	△8%	△10%	
	A3モノクロ機	△3%	△17%	

(-) ハード：欧米や中国で低調  
 (+) ノンハード：日米欧で減少、中国、インドで増加

(+) 業務効率化サービス：欧州で好調  
 (+) 業種別のAI SaaSサービス：日本で好調  
 (-) マネージドITサービス：米国で低調

## 事業貢献利益

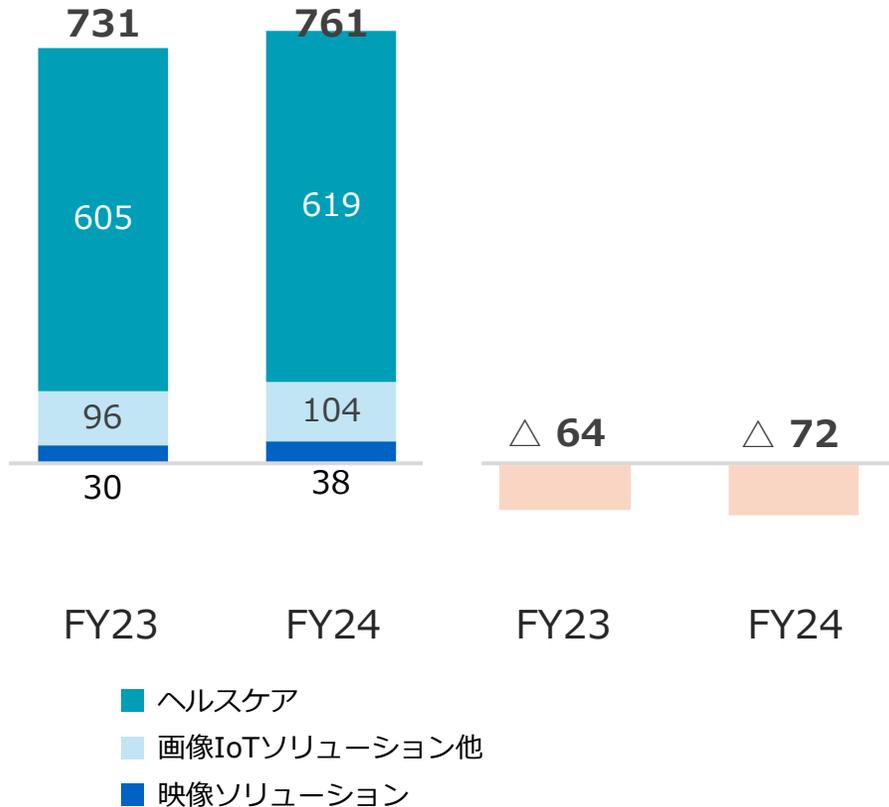
デジタルワークプレイス +96	(+) オフィス：円安効果、ノンハード維持、生産コスト減に加え、構造改革効果含む販管費抑制
	(+) DW-DX：事業領域の絞り込みによる販管費抑制等により損失縮小

# 2024年度 3Q累計業績 | 画像ソリューション

【億円】

## 売上高

## 事業貢献利益



## 売上高

(対前年同期)

ヘルスケア +14	(+) DR：日本の病院市場は投資抑制で減少、米国伸長 X線動態は欧・亜で伸長 (-) X線フィルム：中国を中心に減少 (+) 医療IT：日米で好調
画像IoT ソリューション他*1 +8	(+) 監視カメラソリューション：Mobotix前年並み、 欧米販社堅調 (+) Force Security社*2：好調
映像 ソリューション +8	(+) プラネタリウム直営館：好調

## 事業貢献利益

画像 ソリューション △8	(-) ヘルスケア：X線フィルムと日本のDRの販売減少と、 それに伴う生産効率の低下による売上総利益率の悪化 <b>収益性改善に向けた追加施策を検討</b> (+) 映像ソリューション：黒字継続 (+) 画像IoTソリューション他*1：販管費圧縮し損失縮小
---------------------	--

\*1 前期にCO他に含まれていたFORXAIと、QOLソリューションが追加

\*2 Force Security社：2023年度に買収した米国のシステムインテグレーター

# 中期経営計画の進捗



KONICA MINOLTA

## 事業の選択と集中の完遂、強化事業の成長回帰、財務基盤の強化を加速

青字：成果を得られている案件  
 赤字：計画に対し遅れている案件  
 黒字：現在進行中の案件

FY23～FY24-3Q

### 事業収益力の強化

非重点事業の  
第三者資本活用

- プレシジョンメディシン：全て譲渡契約完了
- マーケティングサービス：国内子会社の連結除外
- 光学コンポーネント：中国生産子会社1社の持分譲渡契約締結

方向転換事業の  
戦略方向性の再設定

- DW-DX：再編による赤字縮小、計画通り進捗
- 画像IoTソリューション：販売リソース見直しによる赤字縮小

情報機器事業の  
収益拡大

- オフィス：収益性の改善
- 情報機器：富士フイルムビジネスイノベーション社との合併会社の設立
- 情報機器：中国・無錫工場の生産終了決定

成長基盤の  
確立にむけた仕込み

- 強化事業：一部の基盤領域(光源色、ディスプレイ向けフィルム、X線DR)で収益悪化、産業印刷の黒字化遅れ
- 強化事業：産業用途光学コンポーネント、SANUQI、X線動態など注力製品の成長
- インダストリー横断：ディスプレイ分野で事業横断の新規事業開発が進展

### 収益基盤強化

グローバル構造改革

- 計画を前倒して実行

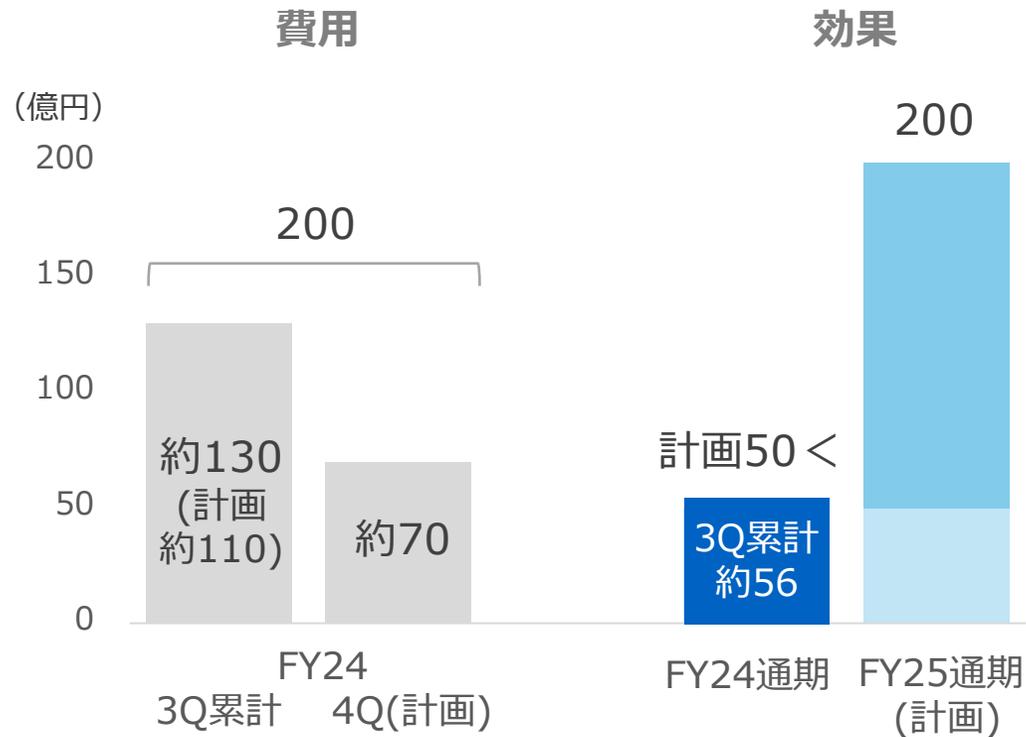
財務基盤強化

- 運転資本圧縮によるFCF黒字化
- 有利子負債の削減
- 金融費用の高止まり、税金費用の悪化

# グローバル構造改革、事業の選択と集中の進捗

計画より前倒しで進捗、生産性向上に向けた取り組みは継続

## グローバル構造改革

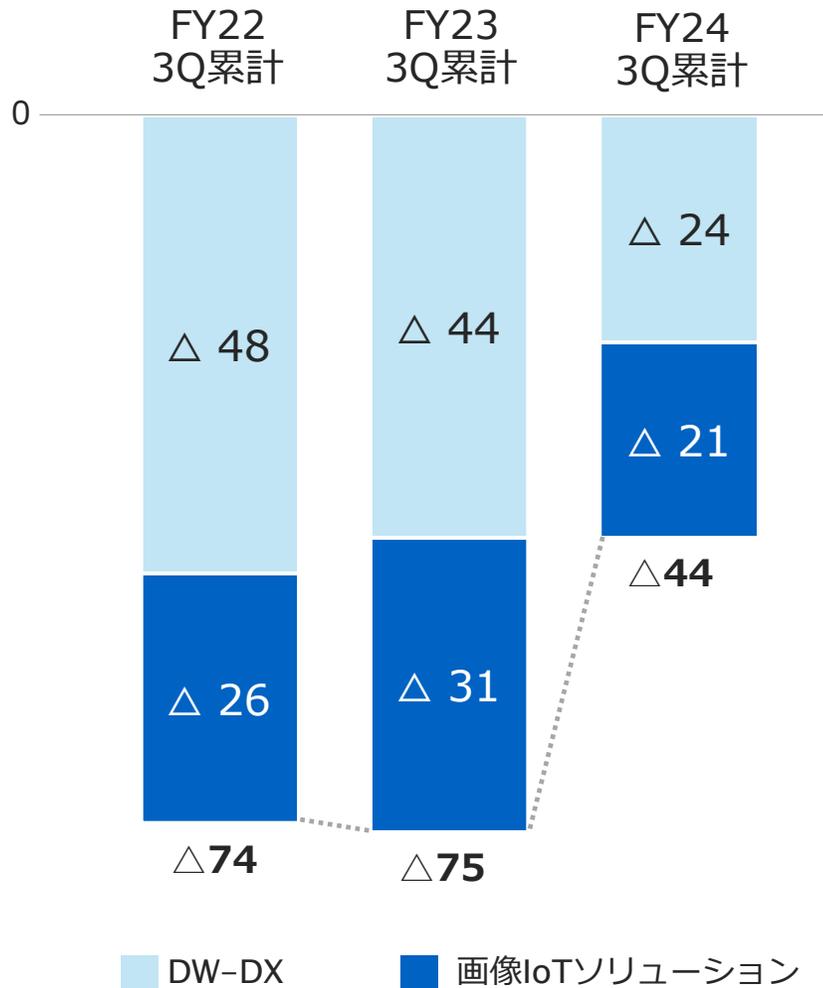


## グループ人員数 推移・計画

	24.3末	24.9末	24.12末
<b>人員 累計減少数 (派遣・請負含む)</b>			
構造改革		1,597	2,110
事業の選択と集中*		511	556
*Invicro社、DW-DXにおける一部事業譲渡			
<b>グループ人員数 (正規従業員)</b>	40,015	38,516	38,263

## 事業貢献損失 推移

【億円】



## 方向転換事業

### 地域・展開国と事業領域を絞り込み

#### DW-DX

- 事業の選択と集中の実行、継続領域の利益率改善
  - 米国販売会社ERPソリューション部門  
MWA Intelligenceの譲渡完了 (1Q)
  - ノルウェー販売会社ITインフラ構築・運用事業  
HydraCloudの譲渡完了 (1Q)
  - 仏 ITトレーニング事業の譲渡完了 (2Q)
  - スウェーデン ITインフラ構築・運用事業の譲渡完了 (3Q)
  - 仏 販売会社 一部ソフトウェア事業の譲渡完了 (4Q)

#### 画像IoTソリューション

- 販売リソースの見直しとソリューション販売の強化
- 欧米の構造改革の進展

# 財務基盤の強化 | バランスシートの状況

FY24 3Q末実績  
(FY23期末比)

総資産 △53億円、為替除く実質 △298億円

- 営業債権：△205億円 情報機器事業を中心に圧縮
- 棚卸資産：+274億円 無錫工場生産終了対応や一部事業の販売減による在庫増等
- のれん：△209億円 減損損失等
- 無形資産：△445億円 プレジジョンメディシン事業譲渡に伴う売却目的資産への振替
- 売却目的保有資産：+602億円 プレジジョンメディシン事業譲渡等

有利子負債 △49億円

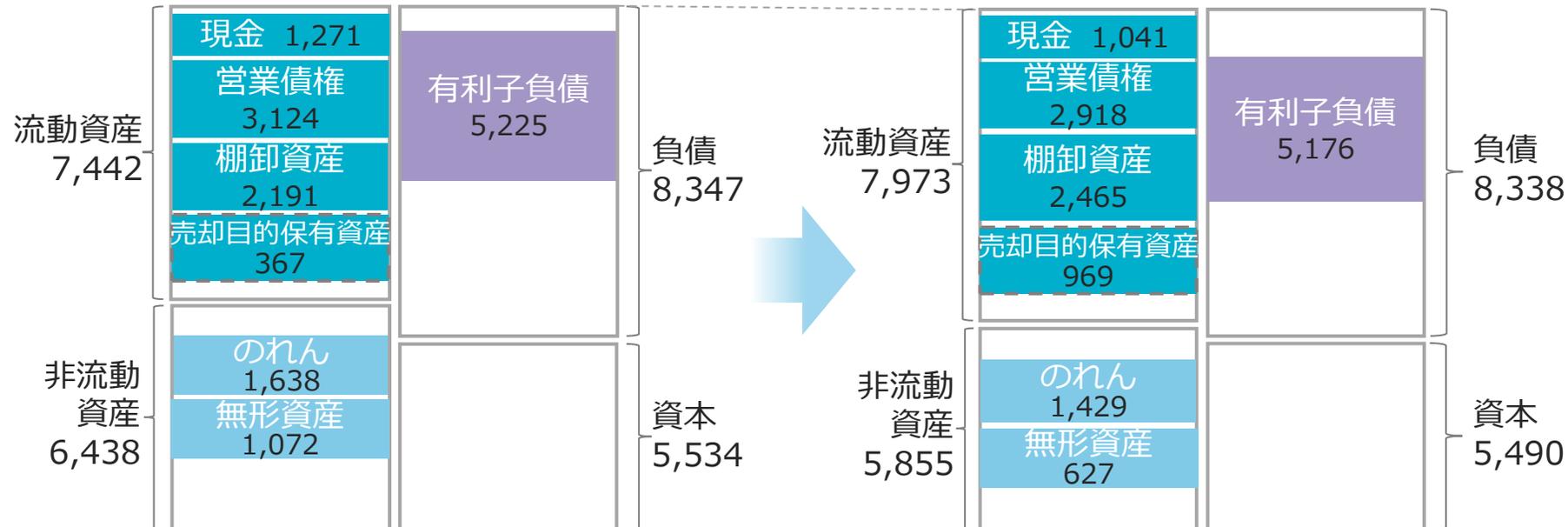
FY23-4Q末

13,881

FY24-3Q末

13,828

【億円】



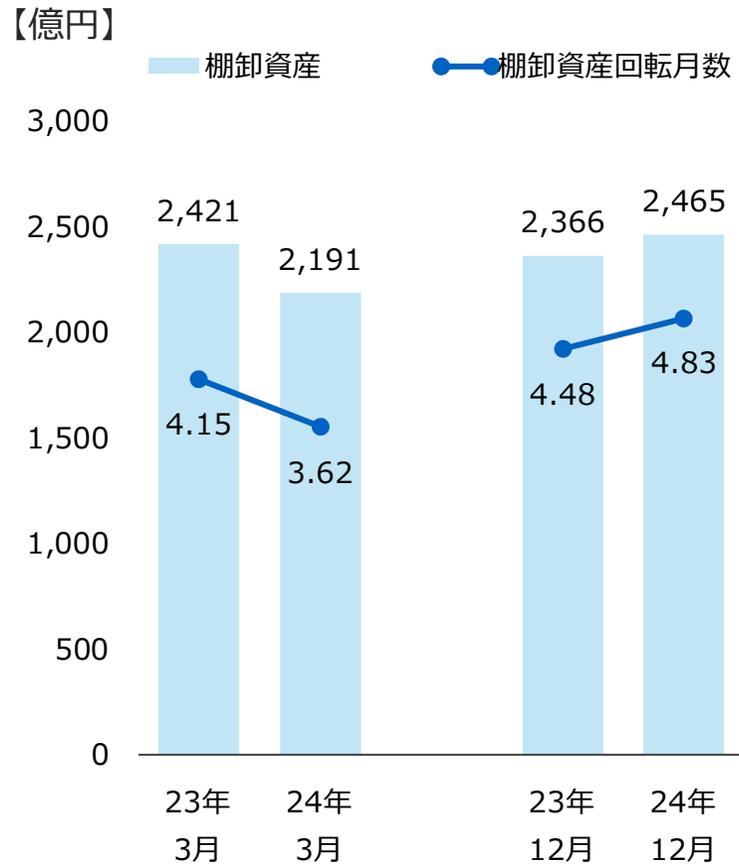
為替レート [円]

	2024年 3月末	2024年 12月末
米ドル	151.41	158.18
ユーロ	163.24	164.92
人民元	20.83	21.67

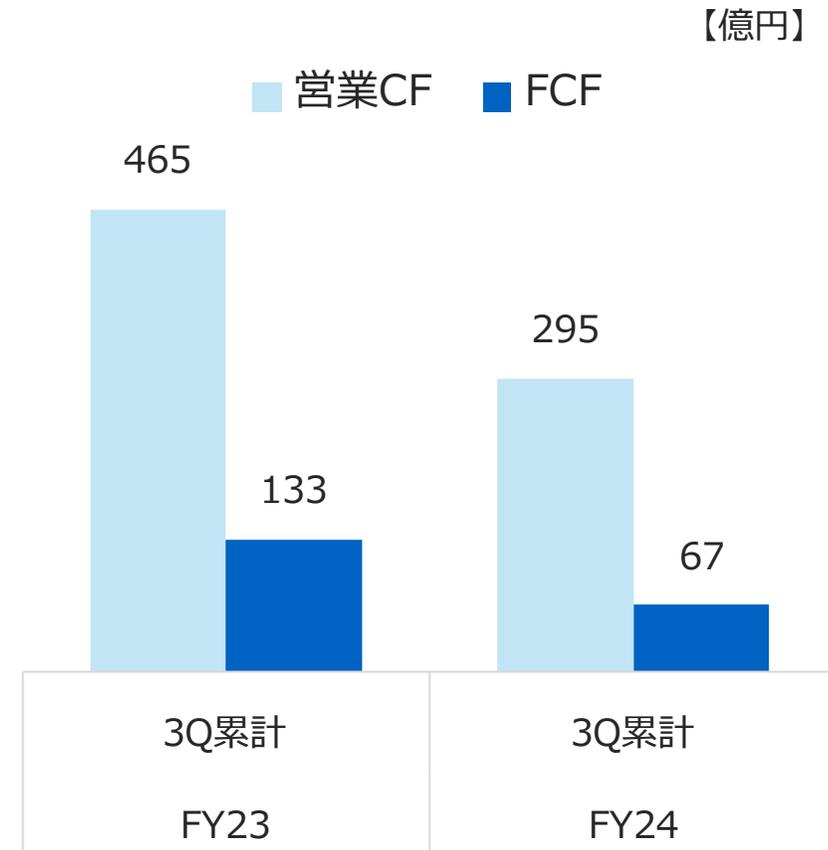
# 財務基盤の強化 | 棚卸資産、営業キャッシュ・フロー/FCF

- 無錫工場の生産終了対応や一部事業の販売減少により、棚卸資産が増加。棚卸資産回転月数の悪化

## 棚卸資産



## 営業キャッシュ・フロー/FCF



# 2024年度業績見通し



KONICA MINOLTA

# 2024年度 業績見通し | サマリー

- 3Qまでの進捗により、FY24の業績見通しは据え置く
- 事業譲渡対価の株式の再評価と、為替換算調整による益を4Q当期利益に計上見込み
- 今後、事業の選択と集中の施策実行の進捗により、精査していく

	FY23 実績	FY24 見通し	【億円】			
売上高	11,077	11,340				
事業貢献利益	333	420				
営業利益	275	△ 140				
親会社の所有者に帰属する 当期利益	45	0				
配当 (円/1株)	5	0				
設備投資額	445	450				
減価償却費及び償却費 *1	542	500				
研究開発費	581	610				
FCF	388	430				
投融資	6	10				
					為替感応度	
為替レート (円)			3Q累計	年間*2	売上高	営業利益
USドル	144.60	152.57	151.93	+7.3	+26	△ 1
ユーロ	156.80	164.83	162.37	+5.6	+16	+4
人民元	20.10	21.15	20.87	+0.8	+31	+11

\*1 減価償却費及び償却費は非継続事業分を含む

\*2 年間為替レート：3Q累計実績レートと4Q想定レート（USドル：150 ユーロ：155 人民元：20）の加重平均

# 2024年度 業績見通し | 売上高・事業貢献利益・営業利益

- 事業貢献利益 上方修正：オフィス、プロダクションプリント  
 下方修正：産業印刷、センシング、機能材料、ヘルスケア等
- 営業利益 前回見通しでコーポレートに一括計上していた費用を、実績に応じて反映

【億円】

売上高	2023年度 実績	2024年度 前回見通し	2024年度 見通し	差異
デジタルワークプレイス事業	6,149	6,200	6,240	+40
プロフェッショナルプリント事業	2,634	2,800	2,800	-
インダストリー事業	1,236	1,260	1,220	△40
画像ソリューション事業	1,052	1,080	1,080	-
コーポレート他	7	0	0	-
全社合計	11,077	11,340	11,340	-

事業貢献利益	2023年度 実績	率	2024年度 前回見通し	率	2024年度 見通し	率	差異
デジタルワークプレイス事業	327	5%	345	6%	405	6%	+60
プロフェッショナルプリント事業	138	5%	175	6%	155	6%	△20
インダストリー事業	176	14%	180	14%	150	12%	△30
画像ソリューション事業	△ 84	-	△ 55	-	△ 80	-	△25
コーポレート他	△ 224	-	△ 225	-	△ 210	-	+15
全社合計	333	3%	420	4%	420	4%	-

営業利益	2023年度 実績	率	2024年度 前回見通し	率	2024年度 見通し	率	差異
デジタルワークプレイス事業	330	5%	150	2%	200	3%	+50
プロフェッショナルプリント事業	116	4%	150	5%	140	5%	△10
インダストリー事業	166	13%	190	15%	△ 115	-	△305
画像ソリューション事業	△ 109	-	△ 60	-	△ 90	-	△30
コーポレート他	△ 227	-	△ 570	-	△ 275	-	+295
全社合計	275	2%	△ 140	-	△ 140	-	-

## 収益基盤 強化

- 24年度中のグローバル構造改革の完遂
- 事業の選択と集中で得たキャッシュの活用含む、キャッシュ創出力の強化
- 事業投資・負債削減・株主還元等バランスの取れたキャピタルアロケーション

## 事業収益力 の強化

- 24年度中の事業の選択と集中の完遂
- オフィスの収益力向上の継続
- 長期視点にたった強化事業の成長回帰

## 長期成長 基盤の確立

- 事業のさらなる成長に向けた人財含めた研究開発アロケーション

**まず2025年度でROE5%以上の達成  
そして、さらなる成長を目指す**

- 中期経営計画進捗説明会：2025年4月中（予定）
- 2024年度決算説明会：2025年5月15日（予定）



**KONICA MINOLTA**

## APPENDIX

開示しておりました一部資料は  
ウェブ上の開示に変更しました。  
以下よりダウンロードしてご確認ください。

[https://www.konicaminolta.com/jp-ja/investors/ir\\_library/fr/pdf/2025/2025\\_3q\\_presentation\\_supplementary.xlsx](https://www.konicaminolta.com/jp-ja/investors/ir_library/fr/pdf/2025/2025_3q_presentation_supplementary.xlsx)



## 決算処理方法

- プレシジョンメディシン事業を非継続事業として区分し、連結の売上高、事業貢献利益、営業利益、税引前利益から除外  
3Q累計実績は1Qに遡及し除外
- 本株式譲渡による利益は非継続事業からの利益として当期利益に計上
  - 3Q : 225億円 (うちAmbry社売却益 234億円)
  - 4Q (見込み) : 事業譲渡対価の株価の再評価、為替換算調整

## 実績

【億円】

	FY23 実績				FY23 参考値		FY24 実績	
	全社		非継続事業		全社(非継続事業は含まない)		全社(非継続事業は含まない)	
	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計
売上高	2,892	8,420	143	380	2,749	8,040	2,740	8,318
売上総利益	1,309	3,681	84	215	1,224	3,466	1,208	3,643
(売上総利益率)	45.3%	43.7%	59.2%	56.5%	44.5%	43.1%	44.1%	43.8%
販売管理費	1,209	3,559	94	274	1,115	3,285	1,083	3,355
事業貢献利益	99	122	△ 10	△ 59	109	181	125	288
営業利益	78	86	△ 10	△ 61	88	146	△ 174	△ 185

# 組織変更に伴う開示セグメントの変更

FY23以前	
デジタルワーク プレイス事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフィス</li> <li>■ DW-DX</li> </ul>
プロフェッショナル プリント事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロダクションプリント</li> <li>■ 産業印刷</li> <li>■ マーケティングサービス</li> </ul>
ヘルスケア 事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>メディカルイメージング</b></li> <li>■ <b>プレジジョンメディシン</b></li> </ul>
インダストリー 事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ センシング</li> <li>■ 機能材料</li> <li>■ IJコンポーネント</li> <li>■ 光学コンポーネント</li> <li>■ <b>画像IoTソリューション</b></li> <li>■ <b>映像ソリューション</b></li> </ul>
コーポレート他 (QOLソリューション、FORXAI、技術開発本部、他CO)	



FY24 3Q以降		
情報機器 事業	デジタルワーク プレイス事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフィス</li> <li>■ DW-DX</li> </ul>
	プロフェッショナル プリント事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロダクションプリント</li> <li>■ 産業印刷</li> <li>■ マーケティングサービス</li> </ul>
インダストリー事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ センシング</li> <li>■ 機能材料</li> <li>■ IJコンポーネント</li> <li>■ 光学コンポーネント</li> </ul>
画像ソリューション事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>ヘルスケア (旧メディカルイメージング)</b></li> <li>■ <b>画像IoTソリューション他</b> (含むQOLソリューション、FORXAI)</li> <li>■ <b>映像ソリューション</b></li> </ul>
コーポレート他 (技術開発本部、他CO)		
<b>非継続事業</b>		
プレジジョンメディシン事業		

【億円】

	FY23 3Q累計	FY24 3Q累計	前期比	FY23 3Q	FY24 3Q	前期比
売上高	8,040	8,318	+3%	2,749	2,740	△0%
売上総利益	3,466	3,643	+5%	1,224	1,208	△1%
（売上総利益率）	43.1%	43.8%	+0.7pt	44.5%	44.1%	△ 0.4pt
販売管理費	3,285	3,355	+2%	1,115	1,083	△3%
事業貢献利益	181	288	+59%	109	125	+14%
（事業貢献利益率）	2.3%	3.5%	+1.2pt	4.0%	4.5%	+0.6pt
その他収益・費用	△ 35	△ 473	-	△ 21	△ 299	-
営業利益	146	△ 185	-	88	△ 174	-
（営業利益率）	1.8%	-	-	3.2%	-	-
金融収支	△ 98	△ 101	-	△ 56	△ 9	-
税引前利益	47	△ 285	-	32	△ 183	-
（税引前利益率）	0.6%	-	-	1.2%	-	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	△ 41	△ 134	-	3	△ 27	-
（親会社の所有者に帰属する当期利益率）	-	-	-	0.1%	-	-
EPS（円）	△ 8.39	△ 27.09		0.70	△ 5.43	
設備投資額	305	273		116	100	
減価償却費及び償却費 *	408	403		137	141	
研究開発費	435	446		143	147	
FCF	133	67		39	△ 100	
投融资	6	4		△ 1	4	

\* IFRS16による使用权資産償却費は含まない

**プレジジョンメディシン事業は非継続事業のため、FY24期初に遡及して売上高から税引前利益、研究開発費の実績から除外しています。FY23も参考値として条件を合わせた数値としています**

# その他の収益・費用及び金融収支明細



KONICA MINOLTA

【億円】

	FY23 3Q累計	FY24 3Q累計	差異	FY23 3Q	FY24 3Q	差異
<b>事業貢献利益</b>	181	288	+107	109	125	+15
<b>その他の収益</b>						
保険金収入	11	2	△9	7	1	△6
その他	35	40	+5	11	15	+5
その他の収益 計	45	42	△3	18	16	△2
<b>その他の費用</b>						
減損損失	18	291	+273	18	282	+264
事業構造改善費用	8	176	+168	2	12	+10
有形固定資産及び無形資産除売却損	14	21	+7	3	11	+8
その他費用	40	26	△14	16	10	△6
その他の費用 計	80	515	+435	39	315	+276
<b>営業利益</b>	146	△185	△331	88	△174	△262
<b>金融収益</b>						
受取利息及び受取配当金	22	23	+1	8	9	+0
為替差益	-	-	-	-	13	+13
その他	3	1	△2	0	0	+0
金融収益 計	26	25	△1	9	22	+14
<b>金融費用</b>						
支払利息	74	69	△4	24	23	△1
リース利息	20	21	+1	7	7	+0
為替差損	22	33	+11	29	-	△29
その他	9	3	△6	4	1	△3
金融費用 計	124	125	+2	64	31	△33
<b>税引前利益</b>	47	△285	△332	32	△183	△215
<b>法人所得税費用</b>	34	72	+38	19	59	+40
<b>当期利益</b>	△44	△132	△88	1	△25	△26

プレジジョンメディシン事業は非継続事業のため、FY24期初に遡及して売上高から税引前利益までの実績から除外しています。FY23も参考値として条件を合わせた数値としています

# 主な通貨の為替レートと為替影響/為替感応度

【為替レート：円】  
【影響額、感応度：億円】

	FY23	FY24	対前年影響額		為替感応度*2	
	3Q累計	3Q累計	売上高	営業利益	売上高	営業利益
米ドル	143.29	152.57	+175	△ 6	+26	△ 1
ユーロ	155.29	164.83	+107	+60	+16	+4
ポンド	179.52	195.43	+29	△ 2	+2	+1
欧州通貨*1	-	-	+145	+59	+23	+8
人民元	19.98	21.15	+30	+13	+31	+11
その他	-	-	+43	+5	-	-
予約影響額	-	-	-	+1	-	-
合計	-	-	+392	+72	-	-

\*1 欧州通貨：ユーロ/ポンド以外の欧州通貨も含む

\*2 為替感応度：1円変動時の影響額（年間）

# セグメント別四半期推移

【億円】

【売上高】	FY23						FY24			
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	3Q累計	1Q	2Q	3Q	3Q累計
デジタルワークプレイス事業	1,433	1,512	1,561	1,643	<b>6,149</b>	4,506	1,520	1,556	1,509	4,585
オフィス	1,226	1,291	1,332	1,396	<b>5,245</b>	3,849	1,290	1,334	1,299	3,924
DW-DX	207	221	228	247	<b>904</b>	657	230	222	210	662
プロフェッショナルプリント事業	602	638	657	737	<b>2,634</b>	1,897	676	714	685	2,076
プロダクションプリント	377	410	435	464	<b>1,686</b>	1,222	422	441	436	1,299
産業印刷	77	94	86	119	<b>376</b>	256	84	119	96	298
マーケティングサービス	148	134	136	153	<b>572</b>	419	171	155	153	478
インダストリー事業	297	320	284	335	<b>1,236</b>	901	310	295	287	892
センシング	91	98	99	106	<b>394</b>	288	88	93	96	277
機能材料	114	128	85	122	<b>448</b>	326	131	107	98	337
IJコンポーネント	45	47	49	55	<b>196</b>	141	53	47	44	144
光学コンポーネント	47	48	51	52	<b>197</b>	146	37	48	49	134
画像ソリューション事業	218	267	246	321	<b>1,052</b>	731	228	276	256	761
ヘルスケア	180	221	204	262	<b>867</b>	605	188	226	206	619
*1) 画像IoTソリューション他	29	36	30	42	<b>138</b>	96	31	36	36	104
映像ソリューション	8	10	11	17	<b>47</b>	30	9	14	14	38
コーポレート他	2	2	2	2	<b>7</b>	5	2	1	2	5
プレジジョンメディシン事業	113	124	143	143	<b>523</b>	-	126	133	-	-
全社合計	2,664	2,864	2,892	3,180	<b>11,600</b>	8,040	2,862	2,975	2,740	8,318

プレジジョンメディシン事業は非継続事業のため、3Q実績から除外、3Q累計でもFY24期初に遡及して除外しています。  
 FY23の3Q累計も条件を合わせ参考値として掲載しています。（水色が該当箇所）

\*1) 「QOLソリューション」「FORXAI」の売上高込み

# セグメント別四半期推移



KONICA MINOLTA

【億円】

【事業貢献利益】	FY23						FY24			
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	3Q累計	1Q	2Q	3Q	3Q累計
デジタルワークプレイス事業	24	84	97	122	<b>327</b>	205	68	123	110	301
プロフェッショナルプリント事業	8	28	52	50	<b>138</b>	88	18	48	42	107
*1) インダストリー事業	39	43	44	51	<b>176</b>	125	38	38	32	107
*2) 画像ソリューション事業	△ 27	△ 8	△ 29	△ 20	△ <b>84</b>	△ 64	△ 40	△ 9	△ 22	△ 72
*3) コーポレート他	△ 55	△ 63	△ 54	△ 51	△ <b>222</b>	△ 173	△ 65	△ 53	△ 37	△ 156
プレジジョンメディシン事業	△ 29	△ 21	△ 11	△ 15	△ <b>76</b>	-	△ 2	16	-	-
全社合計	△ 41	64	99	138	<b>260</b>	181	16	162	125	288

【営業利益】	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	3Q累計	1Q	2Q	3Q	3Q累計
	デジタルワークプレイス事業	20	80	96	133	<b>330</b>	197	45	21	90
プロフェッショナルプリント事業	9	27	51	28	<b>116</b>	88	17	33	39	89
*1) インダストリー事業	39	37	44	46	<b>166</b>	120	31	41	△ 249	△ 177
*2) 画像ソリューション事業	△ 27	△ 8	△ 47	△ 26	△ <b>109</b>	△ 83	△ 43	△ 17	△ 16	△ 75
*3) コーポレート他	△ 54	△ 64	△ 56	△ 52	△ <b>225</b>	△ 175	△ 68	△ 70	△ 39	△ 177
プレジジョンメディシン事業	△ 31	△ 21	△ 11	46	△ <b>17</b>	-	14	△ 12	-	-
全社合計	△ 44	52	78	175	<b>261</b>	146	△ 4	△ 3	△ 174	△ 185

プレジジョンメディシン事業は非継続事業のため、3Q実績から除外、3Q累計でもFY24期初に遡及して除外しています。  
FY23の3Q累計も条件を合わせ参考値として掲載しています。（水色が該当箇所）

\*1) インダストリー事業：センシング、機能材料、IJコンポーネント、光学コンポーネント、インダストリー事業戦略室、インダストリー事業開発センター

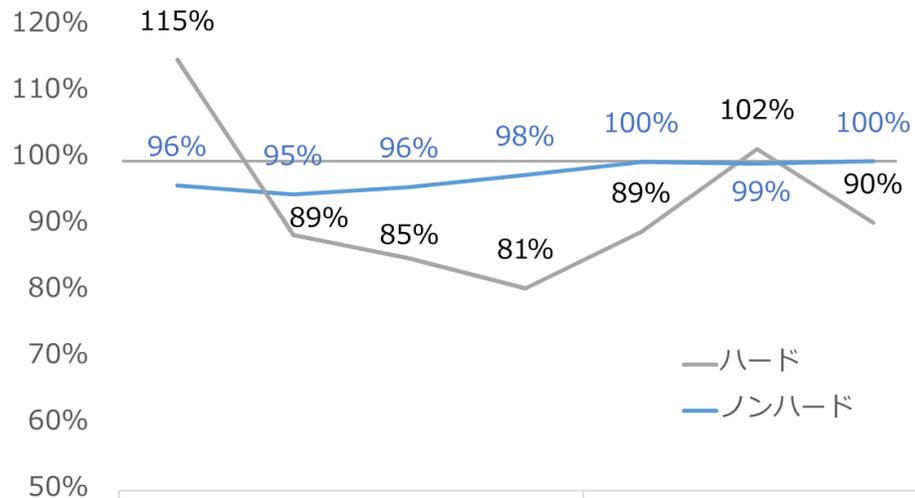
\*2) 画像ソリューション事業：ヘルスケア（旧メディカルイメージング）、画像IoTソリューション他（QOLソリューション、FORXAI含む）、映像ソリューション

\*3) コーポレート他：技術開発本部、その他コーポレート

# 2024年度 3Q業績 | ハード・ノンハード売上 対前年同期

為替影響を除く

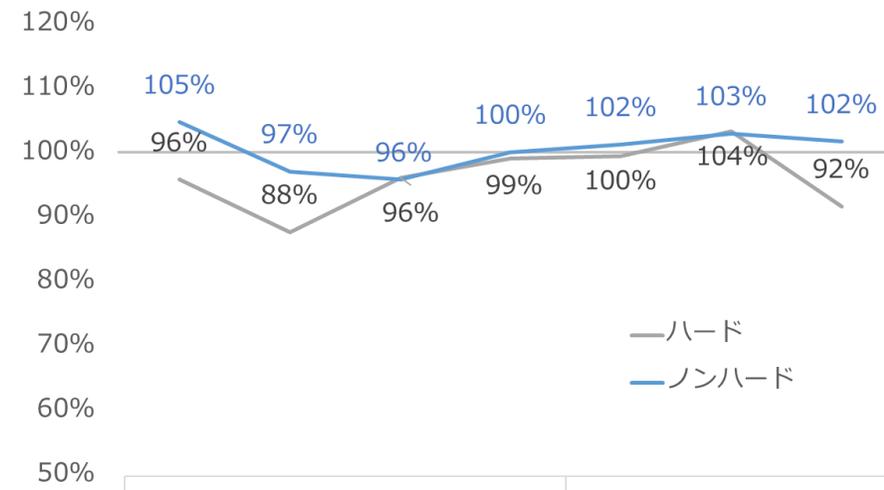
## オフィス



ノンハード地域別

ノンハード地域別	FY23				FY24		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
日本	98%	97%	97%	96%	98%	96%	96%
米国	91%	92%	93%	97%	100%	97%	96%
欧州	94%	96%	102%	95%	96%	101%	99%
中国	95%	125%	86%	104%	107%	85%	122%
インド	125%	117%	119%	127%	108%	119%	116%
合計	96%	95%	96%	98%	100%	99%	100%

## プロダクションプリント



ノンハード地域別

ノンハード地域別	FY23				FY24		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
日本	102%	107%	98%	97%	99%	97%	95%
米国	93%	86%	91%	103%	101%	102%	98%
欧州	96%	87%	92%	91%	97%	104%	99%
中国	170%	140%	98%	93%	104%	88%	118%
インド	132%	126%	108%	117%	104%	110%	110%
合計	105%	97%	96%	100%	102%	103%	102%

- 事業貢献利益：  
売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出した利益指標
- カラープロダクションプリント機セグメント：プロフェッショナルプリント事業  
ELPP (Entry Light Production Print) 月間印刷量10-30万枚、主に大企業の集中印刷室向け低価格帯商品  
LPP (Light Production Print) 月間印刷量10-30万枚、商業印刷向け商品  
MPP (Mid Production Print) 月間印刷量30-100万枚、商業印刷向け商品  
HPP (Heavy Production Print) 月間印刷量100万枚以上、商業印刷向け商品
- 業務効率化サービス：DW-DXユニット  
ビジネスコンテンツの管理や業務プロセス管理を提供するサービス
- AI SaaSサービス：DW-DXユニット  
AIを用いた通訳、ナレッジマネジメント、学習支援などの自社開発サービス
- マネージドITサービス：DW-DXユニット  
企業のIT部門の業務全般を支援・サポートするサービス。PC/ Server、OS、ソフトウェア、ネットワークなどの導入計画立案、導入、運用代行・支援、管理、保守、回収代行などのライフサイクルをサポートするサービス
- FORXAI：画像IoTソリューション他ユニット  
AI技術を中心とした全社共通技術基盤を展開するユニット
- QOLソリューション：画像IoTソリューション他ユニット  
介護施設向けモニタリングソリューションを展開するユニット
- HSI：センシングユニット  
ハイパースペクトルイメージング。広範囲の波長を多数に分割して撮像する方法。当技術を用いることで、人の目やRGBカメラでは判別が不可能なプラスチックの種類が可能となる。
- SANUQI：機能材料ユニット  
ディスプレイ用の電子デバイスの構成部材として使用される、新樹脂フィルムの商標。



# KONICA MINOLTA

- 本資料の記載情報

本資料におきましては、四捨五入による億円単位で表示しております。

- 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料で記載されている業績予想及び将来予想は、現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。